

歴史を学ぶ講座 新・八幡の歴史 23回目

前回は中世の放生会と安居祭りのお話でした。安居祭りは平安時代終わりか鎌倉時代の初めに始められたそうです。

「4月16日から約3ヶ月間、山上社僧が勤め、7月15日に南楼門前の宝樹(松の大木)に布を懸け、社頭を荘厳し、風流灯籠をかける。高座の導師が菩薩戒を読誦、明年の頭役を諸差定し、童舞などが奏された。」(出口さんの資料から) 大体のイメージは浮かびますが、頭役は7月15日には主役になり、一夜で50貫を使い尽くすのだそうです。今に換算すると、ネット検索で大体1貫が40万円?かなと50貫では2000万円か、それ以上でしょう。とても名誉なことだったそうです。多くの人に食事の接待をしたい…。

- ① 日時 2020年9月24日(木) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴23回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



2017年9月15日放生会写真 高井輝雄さん



八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。